平成26年度　全国学力・学習状況調査結果の米子市の概要

米子市教育委員会　学校教育課

平成26年4月22日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された，全国学力・学習状況調査結果について，本市の概要をお知らせします。なお，本調査には，全ての米子市（学校組合）立小・中・特別支援学校が参加しています。

１　全国の状況

◯本調査は，国語，算数・数学の2教科で，小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象として実施されました。これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から問題が出題されています。全体的には前回まで正答率の低かった都道府県で改善が見られた一方で，引き続き応用問題の正答率の低さなどが課題となっています。

２　米子市の状況

（1）教科の概要

<小学校６年生>

国語：
- **主として知識については，全国平均を上回る平均正答率となっています。「話すこと・聞くこと」の領域で特に課題が見られました。**
- **主として活用については，全国平均をやや下回る平均正答率となっています。「書くこと」「読むこと」の領域で特に課題が見られました。**

算数：
- **主として知識については，全ての領域において，全国平均を下回る状況となっています。特に「数と計算」「量と測定」については課題が顕著でした。**
- **主として活用についても，全ての領域で，全国平均を下回る状況となっています。特に「図形」については課題が顕著でした。**

【国語A】（主として「知識」に関する問題）

区分	国語A	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		75.2(B)	77.0	72.9
領域	話すこと・聞くこと	71.6(C)	73.4	72.4
	書くこと	72.5(B)	74.0	72.2
	読むこと	68.8(B)	68.2	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.6(B)	78.8	73.7

【国語B】（主として「活用」に関する問題）

区分	国語B	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		55.2(C)	56.5	55.5
領域	話すこと・聞くこと	51.4(B)	52.3	51.2
	書くこと	33.9(C)	35.5	34.4
	読むこと	56.8(C)	58.3	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.7(C)	71.1	69.8

【算数A】（主として「知識」に関する問題）

区分	算数A	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		76.4(C)	78.6	78.1
領域	数と計算	79.7(C)	81.3	81.8
	量と測定	73.0(C)	76.4	74.8
	図形	70.7(C)	73.5	71.8
	数量関係	79.8(C)	82.2	81.3

【算数B】（主として「活用」に関する問題）

区分	算数B	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		56.5(C)	58.1	58.2
領域	数と計算	60.1(C)	62.0	61.3
	量と測定	54.7(C)	55.8	56.5
	図形	62.6(D)	65.1	65.7
	数量関係	54.6(C)	56.5	56.2

※米子市の平均正答率は，全国平均との差が+3ポイント以上をA，全国平均値以上+3ポイントまでをB，全国平均を下回り−3ポイントまでをC，−3ポイントを下回るものをDで表記しています。

<中学校3年生>

国語：全体では，全国平均をやや上回る状況でした。
・主として知識，活用ともに，ほとんどの領域において全国平均を上回っており良好な状況となっています。
・主として活用の「書くこと」に関する領域で，他の領域より低い正答率となっています。

数学：全体では，全国平均をやや上回る状況でした。
・主として知識，活用ともに，多くの領域において全国平均を上回る状況となっています。
・主として知識，活用ともに，「数と式」に関する領域で課題が見られました。

【国語A】（主として「知識」に関する問題）

区分	国語A	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		79.6(B)	79.5	79.4
領域	話すこと・聞くこと	72.4(B)	71.4	72.3
	書くこと	84.1(B)	83.9	83.4
	読むこと	84.1(B)	82.8	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.5(C)	78.9	78.7

【国語B】（主として「活用」に関する問題）

区分	国語B	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		52.0(B)	51.2	51.0
領域	話すこと・聞くこと			
	書くこと	41.8(B)	41.3	41.0
	読むこと	50.4(B)	49.6	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.4(B)	56.8	56.8

【数学A】（主として「知識」に関する問題）

区分	数学A	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		67.6(B)	67.4	67.4
領域	数と式	76.8(C)	77.5	77.4
	図形	66.4(B)	66.4	66.4
	関数	59.6(B)	58.4	58.0
	資料の活用	60.1(B)	58.5	59.1

【数学B】（主として「活用」に関する問題）

区分	数学B	平均正答率（%）		
		米子市	県	全国
全体		60.4(B)	59.7	59.8
領域	数と式	55.9(C)	56.2	56.9
	図形	60.5(B)	59.1	58.6
	関数	64.3(C)	63.6	64.4
	資料の活用	56.9(B)	56.6	55.9

※米子市の平均正答率は，全国平均との差が+3ポイント以上をA，全国平均値以上+3ポイントまでをB，全国平均を下回り−3ポイントまでをC，−3ポイントを下回るものをDで表記しています。

（2）本年度，中学校3年生の平成23年度（小学校6年生時）と平成26年度（中学校3年生時）の平均正答率の比較

平成23年度（小学校6年生時）の平均正答率			
	米子市	全国(抽出)	差（米子市−全国）
国語A	79.6	77.3	+2.3
国語B	43.2	41.4	+1.8
算数A	81.1	81.1	0
算数B	46.6	45.0	+1.6

平成26年度（中学校3年生時）の平均正答率			
	米子市	全国	差（米子市−全国）
国語A	79.6	79.4	+0.2
国語B	51.9	51.0	+0.9
数学A	67.9	67.4	+0.5
数学B	60.4	59.8	+0.6

主な傾向

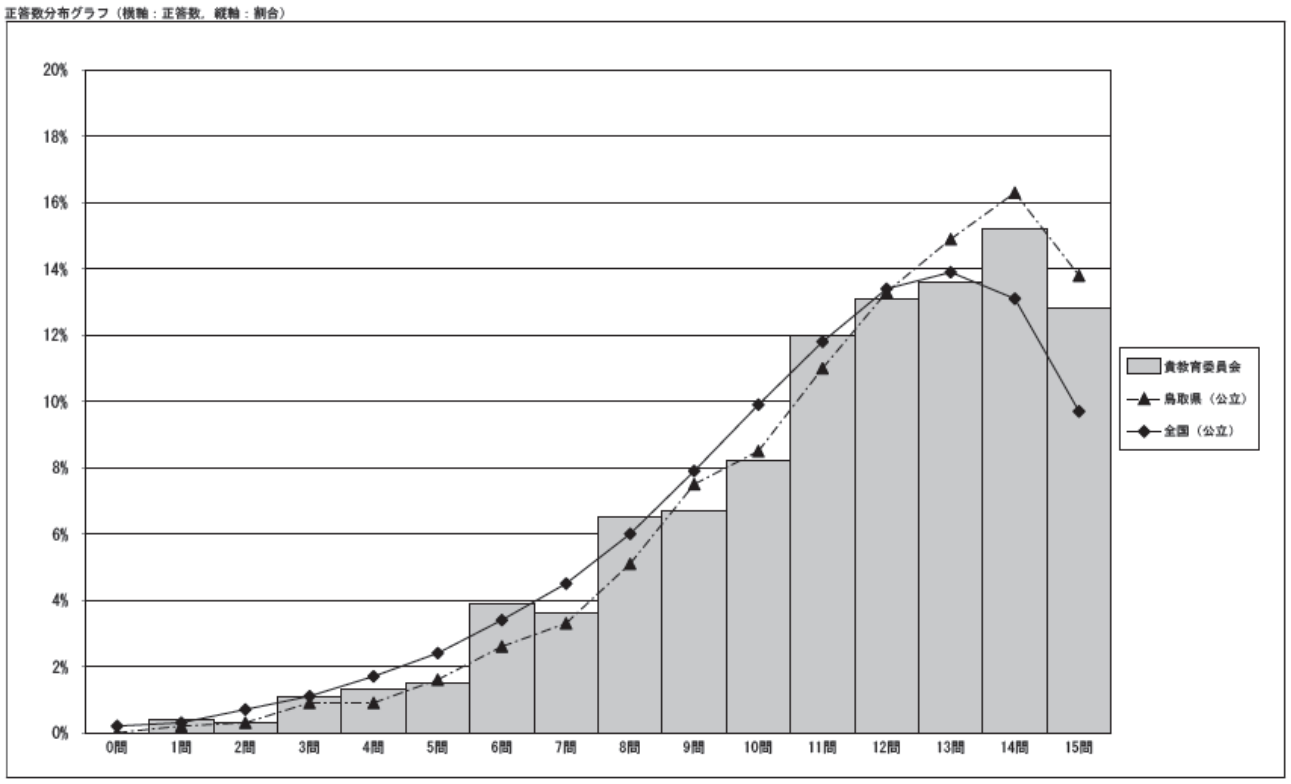
〇平成23年度（小学校6年生時）に全国平均値と同じだった算数Aが，平成26年度（中学校3年生時）では，全国平均値を上回りました。

●国語AB，数学Bについては，平成23年度（小学校6年生時）と比べ，平成26年度（中学3年生時）は全国の平均正答率を上回っているものの，その差が縮まりました。

（3）正答数分布に見る本市と全国との比較

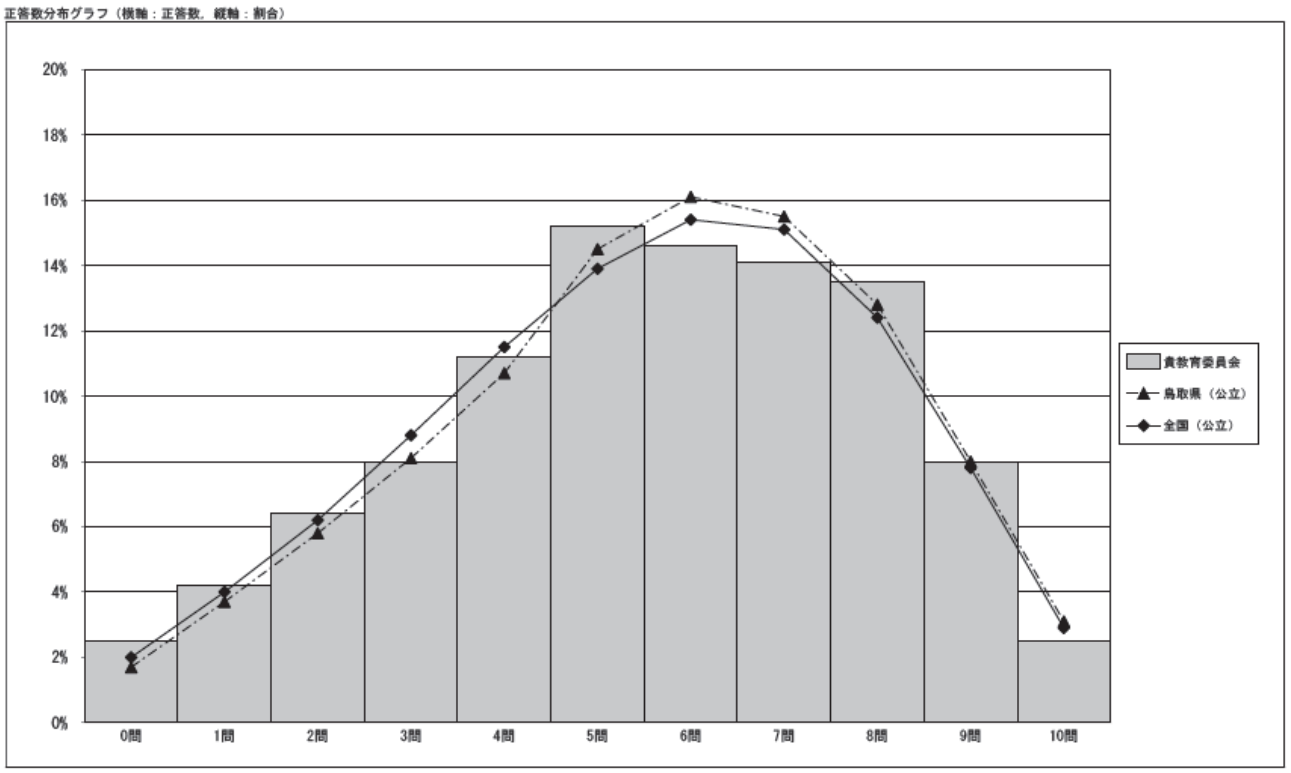
正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）

【小学校6年 国語A】



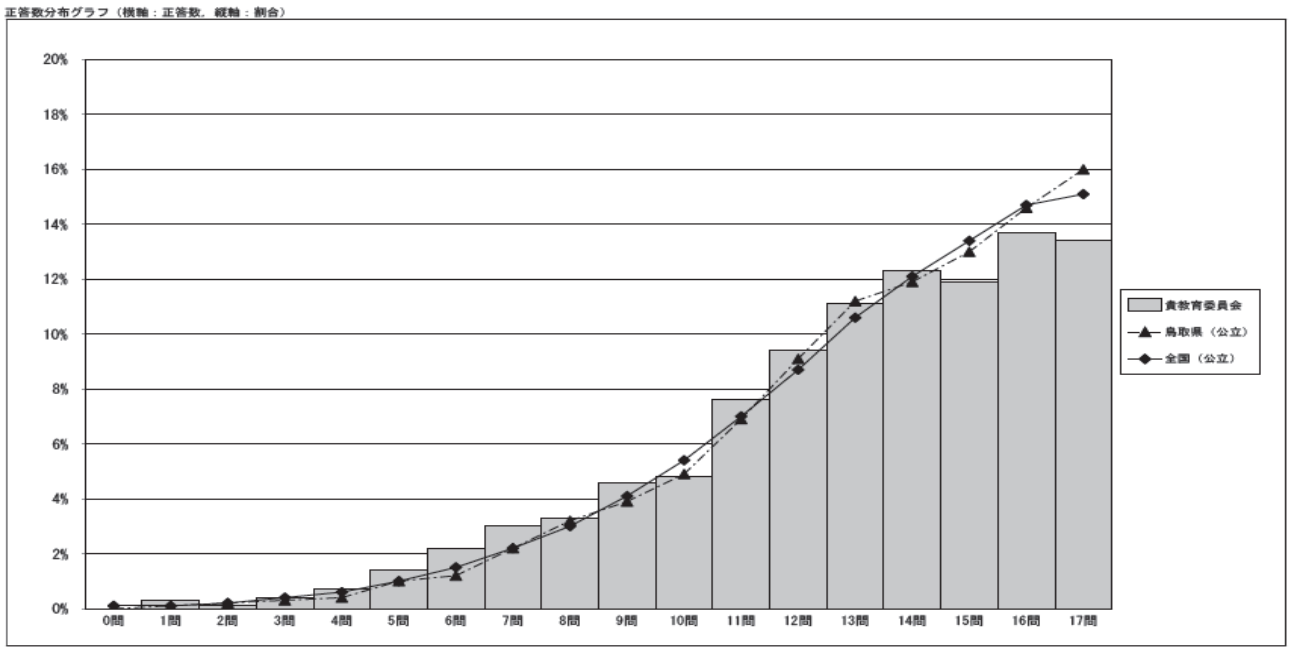
※平均正答率は，全国平均を2.3ポイント上回っています。
・正答数の分布は，全国とほぼ同じですが，14問以上正答した児童の割合が高い状況が見られます。

【小学校6年 国語B】



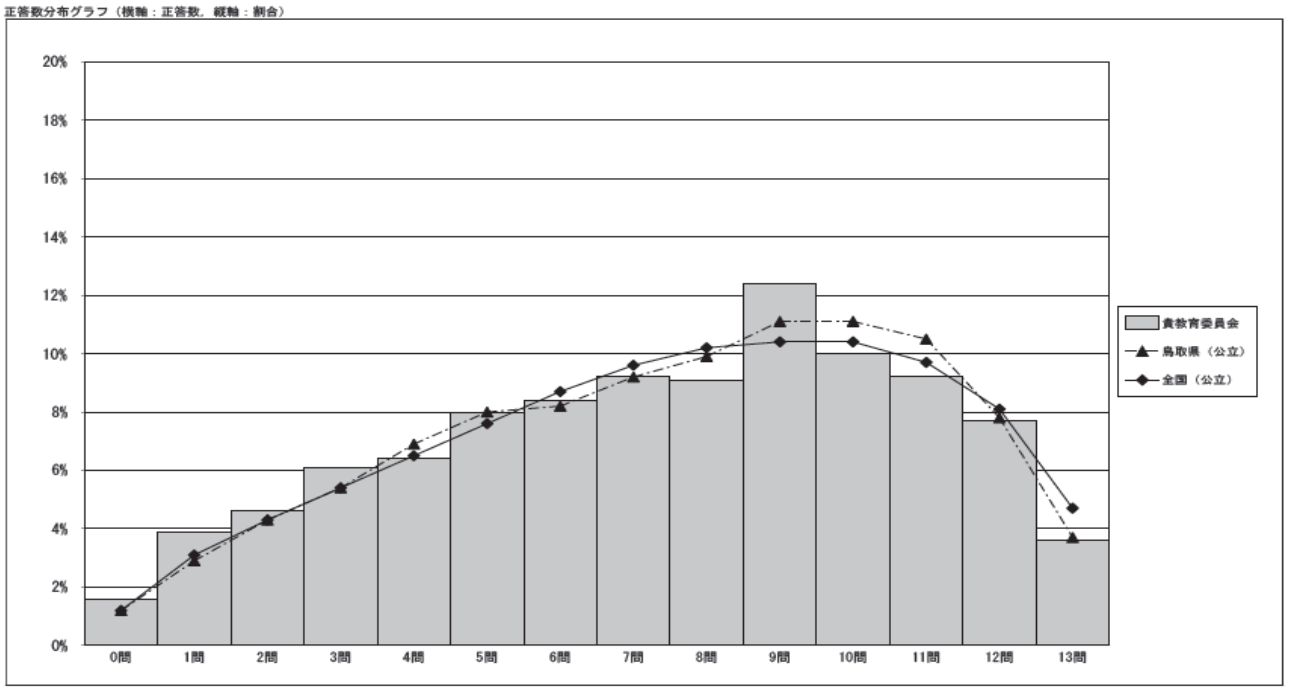
※平均正答率は，全国平均を0.3ポイント下回っています。
・正答数の分布は，全国と比べ6～7問正答した児童の割合が低く，5問正答した児童の割合が高い状況が見られます。

【小学校6年 算数A】



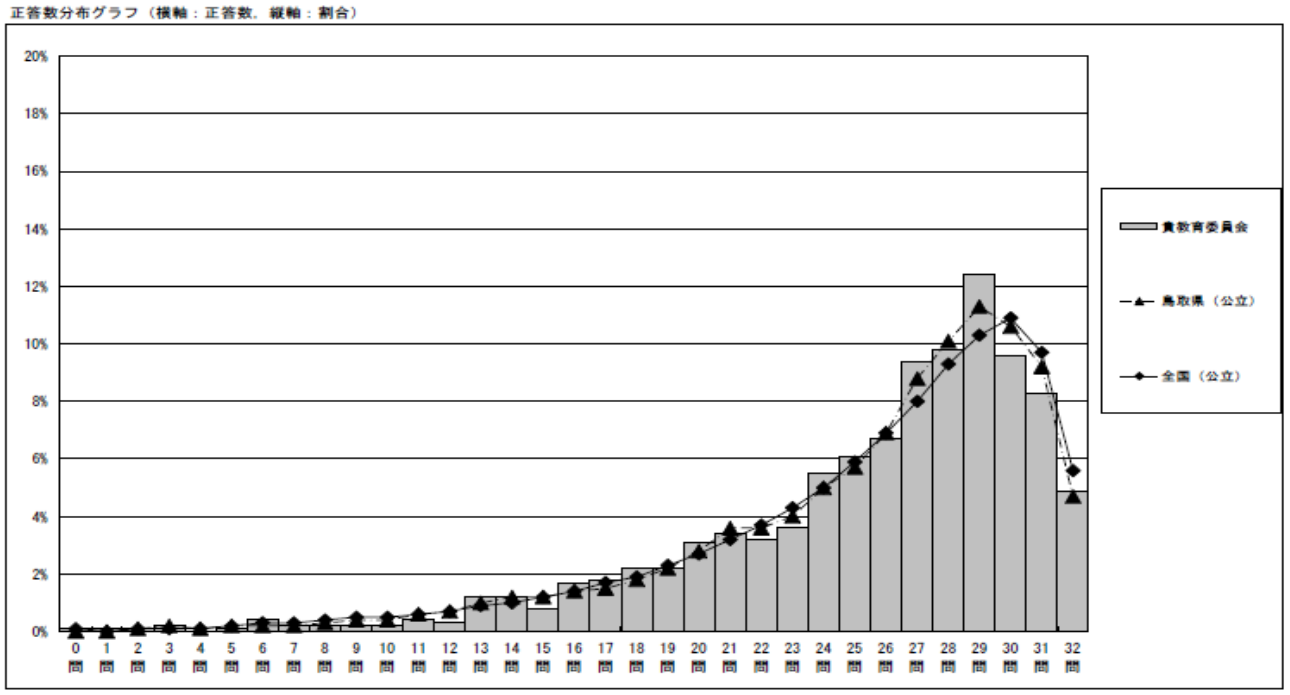
※平均正答率は，全国平均を1.7ポイント下回っています。
・正答数の分布は，全国と比べ15問以上正答した児童の割合が低く，9問以下の児童の割合が高い状況が見られます。

【小学校6年 算数B】



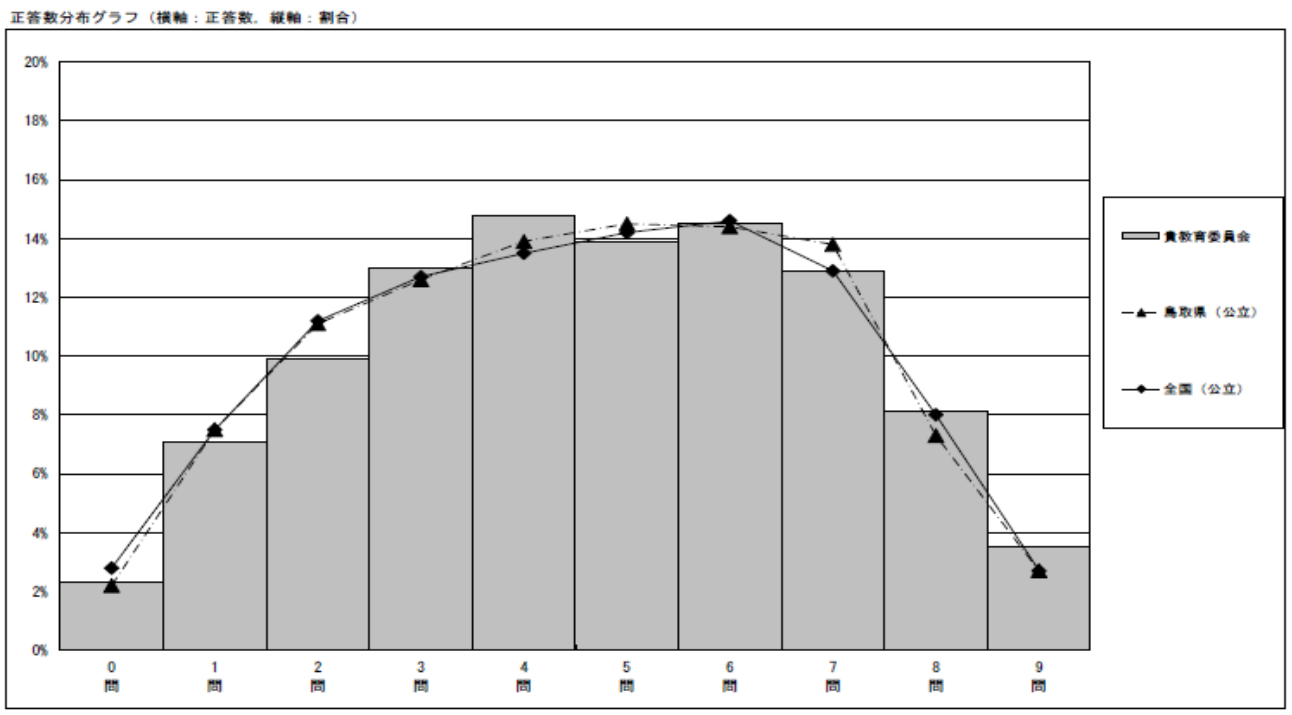
※平均正答率は，全国平均を1.7ポイント下回っています。
・正答数の分布は，全国と比べ10問以上正答した児童の割合が低く，3問以下の児童の割合が高い状況が見られます。

【中学校3年 国語A】



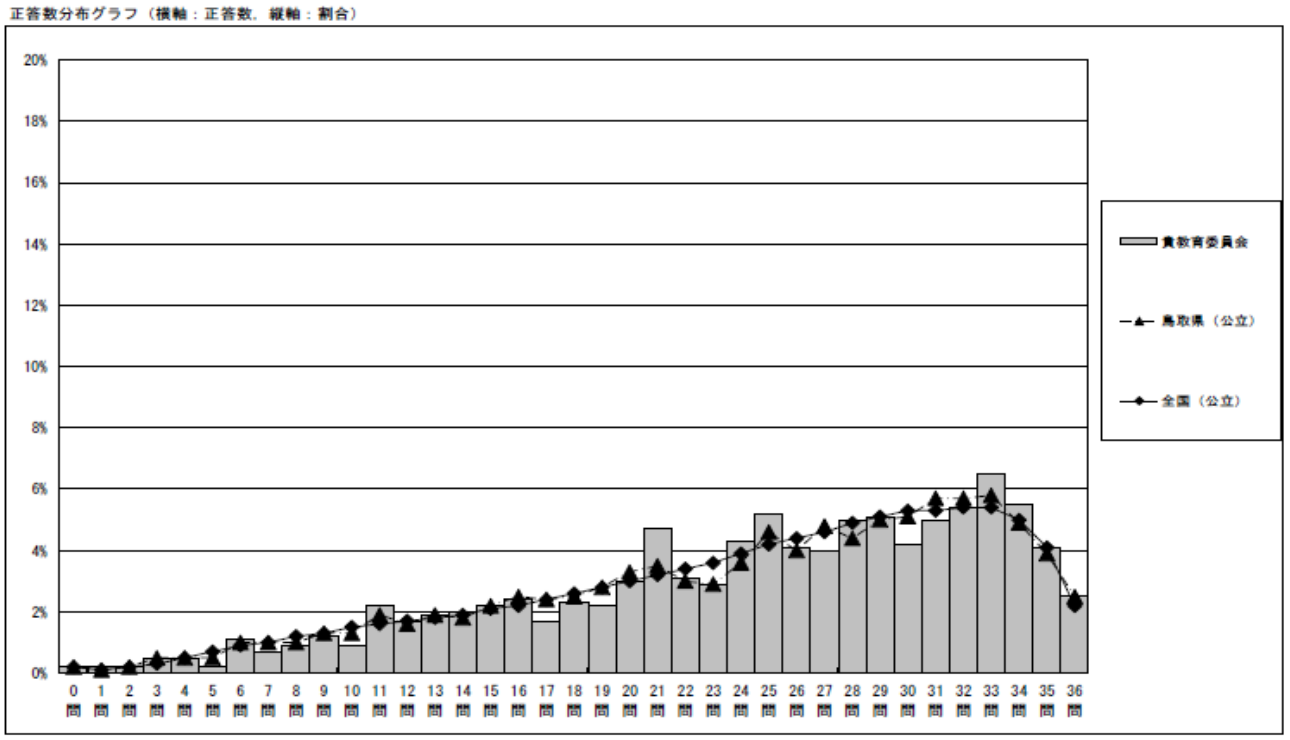
※平均正答率は，全国平均を0.2ポイント上回っています。
・正答数の分布は，全国と比べ29問正答した生徒の割合が高く，30問以上の生徒の割合が低い状況が見られます。

【中学校3年 国語B】



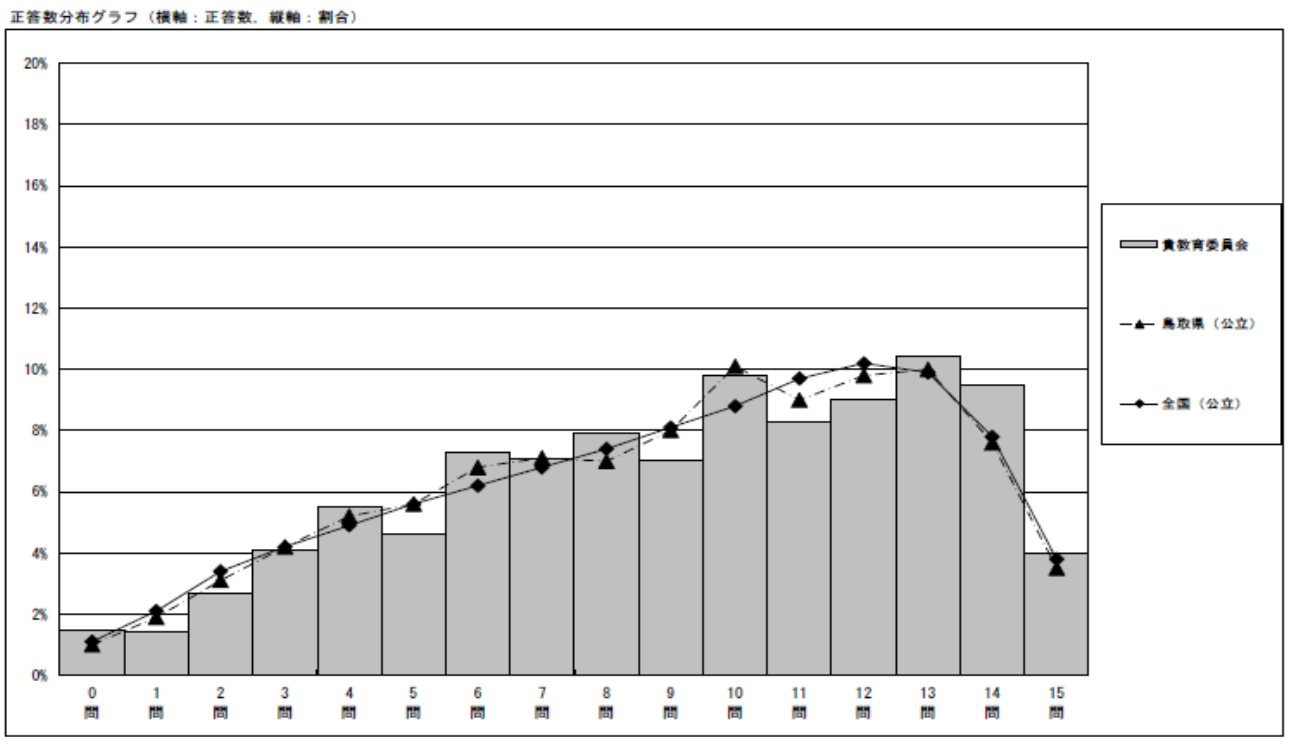
※平均正答率は，全国平均を0.9ポイント上回っています。
・正答数の分布は，全国とほぼ同じです。

【中学校3年 数学A】



※平均正答率は，全国平均を0.5ポイント上回っています。
・正答数の分布は，全国とほぼ同じですが，二極化の傾向が見られます。

【中学校3年 数学B】



※平均正答率は，全国平均を0.6ポイント上回っています。
・正答数の分布は，13問以上正答した生徒の割合が，全国と比べて高くなっています。

（4）子どもたちの学習や生活の様子　－児童生徒質問紙調査より－

<小学校6年生>

○ほとんどの児童が朝食を毎日食べています。
○ほとんどの児童が，ものごとを最後までやり遂げた達成感・成就感を感じたことがあります。
○一日当たりのテレビゲームやインターネットをする時間が，全国平均を大きく下回っています。（少ない）
○読書をする児童が多く，図書館を利用している児童の割合が全国平均を大きく上回っています。
○家の人と学校での出来事について話す児童の割合が，年々増えてきています。（平成20年度68%→本年度83%）
○多くの児童が，地域の行事に積極的に参加しています。
○多くの児童が，授業のはじめに目標が示され，最後に振り返る活動を行っていると感じています。
○ほとんどの児童が「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と思っています。
○ほとんどの児童が，国語や算数の勉強は大切だと感じています。
○学校の授業時間以外に，家庭で勉強する時間が全国平均と比べて5ポイント以上少ないものの，自分で計画を立てて勉強する児童は，年々増えてきています。（平成20年度46%→本年度60%）
○新聞を読んでいる（週に1～3回以上）児童の割合が30%にとどまっています。

<中学校3年生>

○ほとんどの生徒が朝食を毎日食べています。
○ほとんどの生徒が，ものごとを最後までやり遂げた達成感・成就感を感じたことがあります。
○学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日）家庭で1時間以上勉強すると回答した生徒の割合が，年々増えてきています。（平成20年度30%→本年度65%）
○読書をする生徒が多く，図書館を利用している生徒の割合が全国平均を上回っています。
○家で自分で計画を立てて，1日当たり2時間以上勉強している生徒の割合が増加の傾向にあります。
○ほとんどの生徒が，学校の規則や友達との約束を守っていると感じています。
○多くの生徒が，普段の授業で考えを発表する機会が与えられており，生徒同士で話し合う活動をよく行っていると感じています。
○授業のはじめに目標が示され，最後に振り返る活動を行っていると感じている生徒の割合が，全国平均を大きく上回っています。
○ほとんどの生徒が「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と思っています。
○家で宿題をしている生徒の割合は，年々増えてきており割合も高いですが，予習をしている生徒は全国平均を下回っています。
○テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする時間が2時間以上の生徒が割合が，全国平均を上回っています。

【全国と米子市との比較で特徴的な評価項目】

	肯定的な評価項目（全国との差が+5ポイント以上）
小学校	・普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲームをしますか。（1時間より少ない）【+6.3】 ・昼休みや放課後，学校が休みの日に，本を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。（週に1回以上）【+11.7】 ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。【+9.8】 ・国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか。【+5.8】 ・国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。【+5.0】
中学校	・昼休みや放課後，学校が休みの日に，本を読んだり，借りたりするために，学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。（週に1回以上）【+7.4】 ・1，2年生のときに受けた授業では，生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。【+9.8】 ・1，2年生のときに受けた授業のはじめに，目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。【+15.1】 ・1，2年生のときに受けた授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。【+7.0】 ・学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりするのは難しいと思いますか。（思わない）【+5.2】 ・国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか。【+8.2】

	否定的な評価項目（全国との差が−5ポイント以下）
小学校	・学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強しますか。（1時間以上勉強している）【−8.2】 ・学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか。【−5.6】 ・（国語Bの）調査問題の解答時間は十分でしたか。【−6.5】
中学校	・普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしますか。（2時間未満）【−6.6】

3 結果を受けて

＜学校では＞

〈小学校6年生〉
◯国語では，立場を明確にして質問や意見を述べる力や，複数の作品を比べて読み，自分の考えを書く力に課題が見られました。算数では，小数第1位までの減法の計算，平面図形の敷き詰め・立体図形の見取り図から考える問題など，図形領域で顕著な課題が見られました。国語・算数の学習において，基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することが必要です。そのために，一層の習熟が図れるような繰り返しの指導，個に応じたきめ細かな指導を充実させる必要があります。あわせて，既習内容を活用したり，新たな課題を探究したりする学習を通じて，知的好奇心を喚起し，学習のおもしろさを感じたり，自ら課題を見つけ，その解決に向けて意欲的に取り組んだりできるよう，指導の手立てを工夫していくことが必要です。

〈中学校3年生〉
◯昨年度同様，国語・数学の基礎的・基本的な知識・技能の習得についての指導の成果が現れています。ただ，国語では，文脈に即して漢字を正しく書く力に課題が見られました。また，数学では，指数を含む数の計算や方程式等で課題が顕著に見られました。今回の結果をもとに，さらに細かな課題を洗い出し，しっかりと習熟を図っていくことが大切です。

◯主として活用力を問われた数学Bでは，証明を振り返って考える問題やグラフの特徴から問題を解決する方法を説明する問題で課題が見られました。問題解決的な学習過程の中で，生徒同士の話し合い活動の場を保障しながら，自分の考えを論理的に説明する力をこれまで以上に育てていく必要があります。

〈小・中学校共通〉
◯家庭と連携をしながら，家庭での学習習慣や生活習慣の確立に努める必要があります。
◯今年度の調査でも，米子市学校教育の取り組みの重点にもなっている，読書活動や図書館教育の成果が見られました。今後も本市の特色ある教育として，この取り組みを継続していく必要があります。
◯児童生徒の自尊感情がさらに高まるよう，学校，家庭，地域が一体となり，成長を支援していくことが大切です。
◯単年度の結果のみならず，これまでの8年間の経年結果をもとに，各学校の課題の傾向を明らかにし，今後の取り組みに生かしていくことも必要です。
◯小・中学校が児童生徒の学力や生活習慣における課題の傾向を明らかにし，9年間の内容を系統化し，一貫した指導を行っていくことで，大きな成果があがるものと考えます。

＜家庭では＞

家で自分で計画を立てて勉強する児童生徒が増加の傾向にあるなど，好ましい傾向が現れてきています。さらに児童生徒の学力の定着を図るために，以下のような取り組みをお願いします。

◯基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
→あいさつや食事，睡眠，朝食の摂取など規則正しい生活リズムを身につけると，児童生徒の本来持っている力が高まります。
◯家庭で学習する習慣を定着させましょう。
→中学校区で配布されている家庭学習の手引きを参考に，家庭で学習する時間（目安）を見直してみましょう。
→小学生は，学年段階に応じて宿題や授業の予習・復習などに主体的に取り組むこと，中学生は，計画を立てて主体的に学習することで，幅広い学力が定着します。
◯新聞を読む習慣を身につけさせましょう。
→学校の図書館に，児童生徒を対象とした新聞などもあります。世の中の動きがわかり，社会的なものの見方や考え方が育まれるとともに，語彙力や文章表現力が身につきます。
◯テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする時間を少しずつ減らせるよう，家庭で話し合ったりルールを決めたりしましょう。
◯日常生活の中で社会のルールやマナーを身につけさせましょう。
→思いやりの心や社会性などの豊かな心を育むことができます。
◯家庭での読書をさらに勧めましょう。
◯地域の行事に積極的に参加させたり，郷土の自然や文化にふれる体験をさせたりしましょう。

これまでの8年間の調査結果から，引き続き，基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ，知識の活用を図る指導の充実が大切であることがわかりました。また，自尊感情や規範意識が高い児童生徒，携帯電話（スマートフォン）やインターネットに依存していない児童生徒の学力が高い傾向にあることも分かりました。

米子市教育委員会としましては，この8年間の調査結果と他の調査結果を関連させて考察した上で，今後も児童生徒の学力向上に向けて取り組んでいきます。また，学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要ですので，今後さらに学校と家庭とが連携できるような取り組みを進めていきたいと考えています。